

指導主事計画訪問 (総合的な学習の時間)

令和2年10月23日(金)

秋田県教育庁南教育事務所雄勝出張所 指導主事

阿部 広美 先生

大仙市教育委員会教育指導課 指導主事

菅原 清三 先生 をお迎えして



時間帯	内容	担当教員		場所
10:45～11:35	2年 「総合的な学習の時間」	授業者	2年部職員 栗山、佐藤雅、吉田 柴崎、永澤	体育館
11:45～12:35	協議・指導助言	校長、教頭、齋藤、山内、竹村智 島田、栗山、佐藤雅、田中		ミーティング ルーム



研究協議会について

令和2年月10月23日(金)

11:45～12:35

ミーティングルーム

【美術】

司会：齋藤 記録：田中

・研究協議会次第

1 指導者紹介

2 研究協議

(1) 授業者から 5分

(2) 授業についての協議 30分

(3) 指導助言 15分

・授業参観・研究協議の視点

発表や意見交換を基に、働くことについての自分の考えとの比較や関連付けを行い、自分の考えを深めたり、新たな考えをもったりする姿が見られたか。

・指導者 阿部 広美 指導主事

菅原 清三 指導主事

・参加者

授業者 栗山 琢也、佐藤 雅朗

校長，教頭，齋藤、田中、山内、竹村智、島田

第2学年 総合的な学習の時間 学習指導案

日 時 令和2年10月23日(金) 3校時
場 所 体育館
指導者 栗山琢也、佐藤雅朗、柴崎理乃
吉田光宏、永澤宏明

1 単元名 人はどうして働くのだろう？

2 単元と生徒（生徒については省略）

(1) 単元について

職業や自己の将来に関わる課題は、これから3年生となり、中学校卒業後の進路選択をしなければならない2年生にとって、切実かつ現実的な課題である。この課題について、具体的な体験活動や調査活動、仲間との真剣な話し合いを通して学び合う機会をもつことは、自己の生き方を具体的、現実的なものとして考えることにつながるとされる。また、このことは自己の将来を力強く着実に切り拓いていこうとする資質や能力、態度の育成において極めて重要であると考えられる。この考えに基づき、働くことについての探究活動に取り組むことを通して、働く意義や価値、さらには自己の将来の生き方を深く考えることをねらいとし、本単元を設定した。

小単元1では昨年度行った職業調べを生かしつつ、働くことについてどんなイメージ、考えをもっているのか意見交換をしながらその考えを広げ、働くことに対しての疑問から個人のテーマを設定する構成とする。小単元2では職場体験学習を行い、働くことの意義や価値を考え、グループや学年での話し合いや意見交換を通して自己の考えを深められる構成とする。このプロセスを通して、自分自身の特徴を内省的に捉えたり、周囲との関係で理解したりして、学ぶ意味や自己の将来について考えられるような構成とする。

(2) 指導について

本単元では、働くことについての探究活動を進めるにあたって、調べたことやそれに対する自己の考え、意見などをお互いに出し合い、他者の考えを受け入れながら、協働して行う学習を多く取り入れることにより、その質を高めてようにする。

単元の導入では、働くことについてイメージしていること、その目的などについて思っていることを自由に挙げさせ、意見交換しながら働くことに対して考える意識をもたせる。また、働くことの意味と実際に働いている人が考える、働くことの違いを考えさせるとともに、疑問に思ったことを基に個人のテーマを設定させる。職場体験学習では個人のテーマを意識させながら、目的をもった体験活動を行わせる。職場体験学習後は、生徒一人一人が体験したことや学んだことなどをレポートにまとめ、それを基に働く意義や価値について再度考えさせる。さらに、グループでの話し合いや学年での発表と意見交換を行わせることで、働くことを様々な視点から捉えさせ、自己の考えを広げたり、深めさせたりしていきたい。

このような探究活動を通して、働く意義や価値を理解させ、自分の生活及び地域との関わりや今後の進路選択、将来設計、自己の生き方について深く考えていこうとする態度を身に付けさせたい。

3 単元の目標

地域の仕事やその仕事に取り組む人々に関する探究的な学習を通して、働くことの意義と自分自身の生き方との関わりに気づき、働くことの意義を自分との関わりで考えるとともに、今後の学習や生活の在り方に積極的に生かすことができる。

4 単元の評価規準

観点	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
評価規準	① 職業の特徴や資格、進路について理解している。 ② 収集した情報を手際よく分類し、分かりやすい方法で表している。 ③ 働くことの意義を考える学習が、将来の職業選択のみならず、今後の自分自身の生き方に深く関わっていることを理解している。	① 働くことの意味について、自分たちの考えと実際に働いている人々との考えの隔たりから、自分自身で課題を設定し、見通しをもっている。 ② 他者に自分の考えが伝わるように、目的に合わせて情報を分類したり、効果を意識して表現方法を組み合わせたりしている。 ③ 調べたり、考えたりしたことをまとめ、相手や目的、意図に応じて表現している。	① 自他のよさを生かしながら協力して問題の解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。 ② 探究的な活動を通して、自分の生活及び地域との関わりを見直し、自分の特徴やよさを理解しようとしている。

5 指導と評価の計画 (18 時間)

小単元名 (時数)	主な学習活動	評価方法及び評価規準	
働くことについて考えよう (8)	○ガイダンス ・全体計画とねらいを知り、見通しをもつ。 ○働くことについて考える。 ・働くことについてのイメージや目的、職業の特徴や適性などを自由に挙げ、それを基に意見交換をして、考えを広げる。 ○職場体験先を決める。 ・地域にある職業を知り、職場体験学習をする事業所を決定する。事業種ごとに働くことの意味を探る計画を立てる。 ○個人テーマを決め、職場体験での目的を考える。 ・働くことについての疑問点をまとめ、自分なりのテーマを設定する。 ○職場体験の計画表を作成する。 ・訪問先の場所や移動手段など、スムーズに体験できるように計画を立てる。 ○質問内容を精選する。 ・グループで話し合い、施設を訪問しインタビューする内容を考える。	・ワークシート ・振り返りシート ・発言	知・① 知・② 思・① 学・①
実際に働き、自己の生き方を考えよう (10)	○職場体験学習を行う。 ・実際に体験学習を行い、事業所の方に自分たちの疑問をインタビューをしたり、体験から情報を収集したりする。 ○レポートを作成する。 ・職場体験で学んだことや考えたことをまとめる。 ○働くことについてまとめる。 ・インタビュー活動で得た情報や職場体験を通して記録したことを整理・分析し、仕事をする理由と自己の成長の関係を知る。 ○働くことについてグループで話し合う。 ・働くことについてグループで考えや意見交換をし、学年での発表に向けての準備をする。 ○学年で発表会を行う。(本時) ・他者の発表を聞き、自分と他者の考えとを比較しながら、働くことについて自己の考えを深める。 ○自分の将来や生き方について考える。 ・これまで学習した働くことの意義や価値を生かし、自分の将来や生き方について考え、まとめる。	・レポート ・振り返りシート ・振り返りシート ・発言 ・ワークシート ・発言 ・振り返りシート	思・② 知・③ 思・③ 知・③ 学・① 学・②

6 本時の指導 (17/18時)

(1) 本時のねらい

職場体験の発表や意見交換を基に、働くことについての自分の考えとの比較や関連付けを行いながら、考えを深めることができる。

(2) 学習の展開

段階	学 習 活 動	学習形態	学習内容
導入 5分	1 めあてを把握する。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">働くことについて、自分の考えを深めよう</div>	全体	○指導上の留意点 【評価の観点】 (方法) ◎つまずきと手立て ○本時はグループで互い発表をし、意見交換しながら自分の考えを深めることが目的であることを確認する。
展開 40分	2 それぞれのグループの発表を聞き、意見交換を行い、自分の考えをまとめる。 発表の流れ ・各グループの発表と意見交換をする ↓ ・各自ワークシートにまとめる ※この発表の流れを2回行う。 (20分×2回)	グループ 個人	○発表と意見交換は4グループずつ(10人程度)で行い、1グループにつき1人の教員をおき、それぞれの発表の進行をサポートする。 ○発表を聞きながら、気付いたことや質問したいことなどをメモするように指示する。 ○意見交換を活発に行わせるために、聞く側からは質問だけでなく、感想や意見を述べさせる。また、発表する側から聞く側への質問も積極的に行わせる。 ○ワークシートには、働くために身に付けたいことベスト3を理由も含めて書くように助言する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">◎まとめられない生徒には、ワークシートに書かれた自己の考えと各グループ発表で提示されたキーワードとを比較させることで、まとめられるようにする。</div> ○グループをサポートする教員が、本時のめあてに基づいて、生徒の変容を見取る。 ・職場体験の発表や意見交換を基に、働くことについての自分の考えとの比較や関連付けを行いながら、考えを深めている。 【知・③】、【学・①】 (ワークシート、発言)
終末 5分	3 今日の授業で学んだことを振り返る。	全体	○生徒数名に発表してもらい、学びの共有化を図る。

校舎配置図

